

自己評価公表シート

令和5年度 第2回 津山社会福祉事業会 津山保育園

1. 本園の保育目標

<p>子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。 2. 豊かな生活経験のなかから基本的な生活習慣を身に付ける子どもを育てます。 3. 安定した気持ちでさまざまな活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。 4. 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。
--

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
<p>保育について 保育理念・事業所目標の理解をした上で、職員が連携して「子どもの最善の利益の尊重」を最優先して保育を行う。</p>	<p>保育指針・全体的な計画を基本として保育の指導計画、実践を行っている。特に、「子どもの最善の利益」を念頭に月目標をたて、毎月全員が話し合いを行った。全員が自分の思いを話す機会が増え、具体的に理解が深まったが、保護者アンケートでは、職員の言葉遣いについて意見が寄せられており、引き続き人権について共通理解が必要と考えている。</p>
<p>職務について 自分の職務や役割分担を理解し、安心安全な保育について、職員間で連携を取りながら責任を持ち意欲的に取り組む。</p>	<p>今年度も、職種、立場に関係なく全員が同じ内容で会議に参加できるようグループに分けて同様の内容で実施した。経験や立場により意識の差があるが、共通理解が深まった面もあり、今後も話し合いを継続していく。また、職員減による負担増について、業務改善を行う必要がある。</p>
<p>資質向上について 保育士・栄養士等人間性と専門性の向上のため、一人ひとりが目標を持ち、保育の質を高める。</p>	<p>市や保育協議会、大学等、外部への研修（オンライン含む）と園内研修（人権・自己評価・公開保育・支援児対応等）を年間計画に基づき実施し、参加者は報告を行っている。参加者は気付きがあり課題を持つことができている。職員のスキルに差があり、職員全体で内容を周知出来るようにすることが課題である。</p>
<p>その他 感染症対策緩和後の生活の中で、楽しい保育の提供に努める。</p>	<p>5月に緩和後、行事の再開について、職員間および父母の役員で話し合ったり、市や保育協議会を通じて他園の状況も把握したうえで園行事、父母の会として「虹っ子まつり」を実施できた。また、近隣に向けては、商店街へのお祭りごっこ練り歩きや防火パレードを再開できた。</p>

3. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
<p>人権を最優先した上で、子どもの主体性を尊重した保育の計画・実施をする。</p>	<p>子どもの人権を最優先に考え、日々の保育の振り返りや自己評価での課題をチーム会議や園内研修で話し合い、改善に努める。課題については、職員個人だけではなく、園全体で取り組むこととして職員全員に周知を行う。</p>
<p>全職員の共通理解と現状に合わせた職務の遂行に努める。</p>	<p>引き続き全員が同じ内容で会議や話し合いに参加して、お互いを認め話しやすい環境作りを行う。また、保育業務の見直しや時間の有効活用をし、働きやすい職場環境を作る。ICTを活用して業務負担の軽減に繋げる。</p>
<p>全ての職員の資質向上に努める。</p>	<p>研修計画に基づいて全員が様々な内容の外部研修及び園内研修に参加をする。研修内容については現場でどのように活用していくかを具体的に伝達報告ができるようにする。</p>
<p>信頼される保育園として、保護者、地域、専門機関との連携を図る。</p>	<p>父母の会との連携を強化し、コロナ禍以降の活動計画を行い、状況に合わせてうえて連携を取って進めていく。また、保護者の不安感や悩み等を受容したり、関係機関との連携を図り子育て支援に努める。また、保育理念や保育内容等の発信力を強化する。災害発生時に子どもの安全確保ができるよう近隣事業所へ依頼して、避難訓練を実施する。</p>